

テーマ「WISC IV検査の結果から見える支援を考える」

講師 戸倉

WISC-IV検査結果の見方と支援の方向性を探る



那珂市教育支援センター 戸倉 花子

本日の流れ

1. WISC-IVの概略や結果の見方について
2. グループワーク
はじめに、グループ内で自己紹介話し合い (25分)
3. シェアリング (10分)
4. まとめ

WISC-IVとは？

- **WISC-IV**
ウェクスラー式知能検査 (Wechsler Intelligence Scale for Children-4th)
世界で広く利用されている代表的な知能検査
- 対象年齢：5歳0ヶ月～16歳11ヶ月
幼稚園年長から中学校卒業まで。ただし、知的発達に遅れがある時は8歳以上になってから使用するのが一般的。
- 検査の所要時間：およそ60～90分
- 基本検査 (10個) と補助検査 (5個)
- 全体的なIQの算出に加えて、「言語理解」、「知覚推理」、「ワーキングメモリー」、「処理速度」の4つの指標得点を算出する。
- この検査で発達障害の診断をすることはできない。しかし、子どもの認知や行動特性のばらつきを見る為に役立てられる。

WISCを実施する目的は？

何の為に実施するのか？

- ・ WISCを実施する本来の目的は、子どものつまずき (問題や主訴) の能力的な原因と対策を知ること。
- ・ 子どもの発達や得意・不得意に関する客観的なデータを見つけて、学校や家庭で、子どもの特性に応じた支援に役立てることができる。
ただし、WISCは万能ではない
- ・ WISCだけでは原因が捉えられないこともある。その場合、他の検査なども実施して原因を追究する必要がある。

検査結果から分かること



- ① 発達障害の可能性が分かる
- ② 4つの観点から子どもの **得意・不得意** が分かる
- ③ 生活上のヒントが分かる

基本検査と補助検査

	基本検査	補助検査
言語理解指標	類似・単語・理解	知識語の推理
知覚推理指標	積木模様・絵の概念・行列推理	絵の推理
ワーキングメモリー指標	数唱・語音整理	算数
処理速度指標	符号・記号探し	絵の末梢

※ 黒字は基本検査 赤字は補助検査

WISC-IVの構成要素



5つの合成得点

- ・全検査IQ (FSIO : Full Scale IQ)
全体的な知的能力 (知能) の発達水準
- ・言語理解指標 (VCI : Verbal Comprehension Index)
ことばを理解して考える力はどれくらいあるか？
指示されたことが理解できているか？
- ・知覚推理指標 (PRI : Perceptual Reasoning Index)
目で見て理解して考えたり、推理したりする力はどれくらいか？
- ・ワーキングメモリー指標 (WMI : Working Memory Index)
聞いて理解する力、人の話を聞く力はどれくらいか？
- ・処理速度指標 (PSI : Processing Speed Index)
要領の良さ、機械的な単純作業を進めるスピードはどれくらいか？

感想

- 検査結果によって、いろいろな支援方法を考えられることが分かった。また、検査のでこぼこは、その児童の生きづらさを表していることを知り、学級の児童の検査結果をもう一度よく見直しながら、これからの支援を考えていきたいと思った。
- グループでの話し合いの時間があつたのは、有意義だった。昨年度までの3年間は、特別支援学級担任の目線だったが、今年度は通常学級担任なので、見えるものが異なってくるものだと感じた。
- 検査結果がとても大事で、一人一人違う支援の重要性を改めて感じた。実際、このような支援をするとよい(教具など)という具体的な話も聞きたいと思った。
- 担任が見立てている姿に対し、検査による客観的な指標による手かかりとして効果的に活用したいと思った。
- 検査結果の見方やよく分からないところがあつたので、この研修を受けたことで分かったことが多かつた。多項目の数字の意味がもう少し具体的にあると、ありがたかつたです。
- 何も分からなかつた検査について知ることができ、勉強になつた。
- 検査で数値は出るが、子どもの実態に応じた支援が大切であることを改めて理解した。
- 今まで WISC 検査という言葉は耳にしていたが、実際どのような検査なのか分かつていなかつたので、今回の研修で知ることができ良かつた。
- 検査の各指標から見られる生活上の課題や手立てなどを詳しく教えていただいた。これからの指導に生かしていきたいと思った。
- 知能検査から見えてきた認知特性をしっかりと教師が理解して、適切な支援策を考えて実施することの大切さを改めて感じることもできた。
- できるだけ多くの先生方に知ってもらいたいと思う研修内容だつた。
- 検査の4つの指標について、日常生活上の問題や具体的な対応の仕方が分かつた。
- 検査の結果をどのように生かしていくかがとても大切だと思った。特別支援担当の先生だけでなく、全職員で研修していく必要があると思った。
- それぞれ指標の低い子の困っている事や支援策が分かつた。特性に合わせた支援ができるよう頑張っていきたい。
- 検査結果の見方や支援での生かし方がとてもよく分かつた。生徒に合つた支援を考え、より良い支援ができるよう活用していきたい。
- 検査結果をもとに一人一人の児童にどのような支援ができるか考えていきたい。
- 検査結果の見方やそこから考えられる困り感、そして解決策について示していただいたり、考えたりする場があり、多くのことを学ぶことができた。
- 検査の数値ばかりに目がいつていたが、その子の特性をよく理解して力を伸ばす支援をしていきたいと思った。